

**MDC-70/MDC-70T**

**Multi Device Controller**

**VTR 簡易編集機能**

**取扱説明書**

## 【改定履歴】

	発行日	バージョン	内容
1	2016年7月	S0100_01_57	初版
2	2017年4月	S0100_01_57	誤記訂正 ※IN ボタン・OUT ボタンの長押しで設定値の削除の記載を追加しました。
3	2018年3月	S0100_01_6C	・DiskRecoder 記載を追記 ・同期再生の自動調整機能を追加
4	2018年5月	S0100_01_6F	・Recoder 指定 MENU 追加 ・Audio ch 指定を 8ch に変更
5	2019年10月	S0100_7A_02	・XDS ASM 編集機能に対応
6			

## 【目次】

1. はじめに .....	3
2. 簡易編集機能詳細 .....	3
3. 簡易編集時の注意 .....	6
4. 編集操作 .....	7
5. 編集 TC について .....	9
6. 編集システム設定 .....	10
7. XDS 編集オプション使用例 .....	12
8. お問い合わせ .....	13

## 1. はじめに

“MDC-70”“MDC-70T”をご使用頂き、誠にありがとうございます。

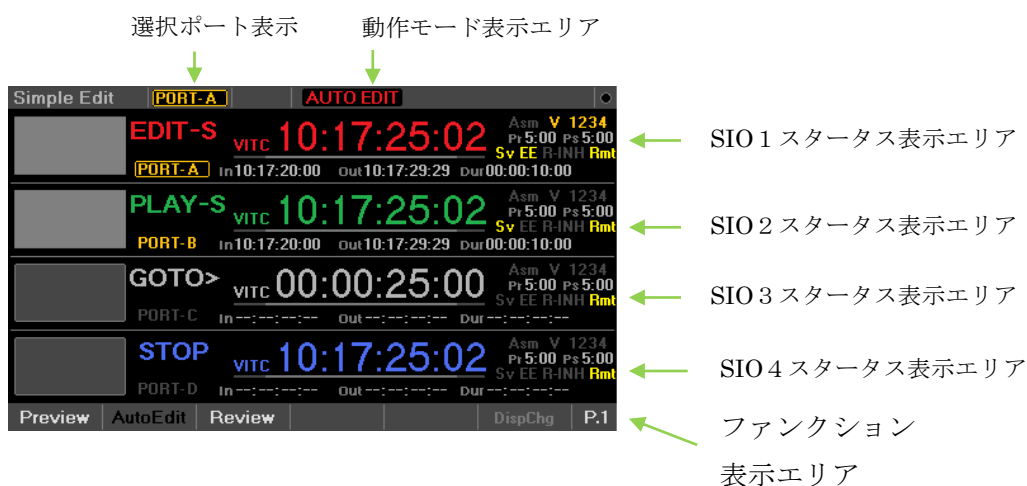
本製品の簡易編集機能について記載致します。

## 2. 簡易編集機能詳細

編集モードを使用すると2台のVTRを使用して編集を行うことが可能です。

※編集機能使用時は必ずREFを入力して下さい。

簡易編集は、SimpleEdit画面で行います。



### 【ファンクション表示エリア(機能概要)】

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	Preview	AutoEdit	Review			DispChg
P.1 +Shift		AutoEdit				Monitor
P.2	Asm	Video	DA1	DA2	DA3	DA4
P.2 Shift						
P.3	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P.3 +Shift						
P.4	TC	CTL	CTL-Reset			
P.4 +Shift	TC	CTL				

- 【Preview】 編集のプレビュー動作を行います。
- 【AutoEdit】 SFT+F1 で編集を開始します。
- 【Review】 編集結果を確認します。
- 【Asm/Video/DA1/DA2/DA3/DA4】 編集モードに応じて選択します。  
Asm :アッセンブルモードで動作します。  
Video/DA1/DA2/DA3/DA4
- 【Preroll-\*/Postroll-\*】  
Preroll-1 ( 3 秒) / Preroll-2 ( 5 秒) / Preroll-3 (7 秒)  
Postroll-1 ( 3 秒) / Postroll-2 ( 5 秒) / Postroll-3(7 秒)  
※Preroll 時間はメニューで設定可能です。(編集を行う時は3秒以上確保して下さい)
- 【TC/CTL】 編集タイムコードを選択します。
- 【CTL-Reset】 編集タイムコードが CTL の時、リセットします。

## ■ステータス表示エリアの説明



- ① 簡易画像表示  
※IN1～IN4 にアナログビデオ信号を入力すると表示されます。
- ② VTR ステータス表示部
- ③ VTR TC 表示部
- ④ タイムコード表示部  
※VTRの状態により色が変わります。  
STOP(青) PLAY(緑) REC(赤) SHUTTLE/VAR(水色)
- ⑤ 編集モードの選択  
Asm : アッセンブル選択時“黄”になります。  
V/DA1/DA2/DA3/DA4 : インサート選択時“黄”になります。
- ⑥ プリロール・ポルトロール時間の表示  
Pr : Preroll 時間を表示します。  
Ps : Postroll 時間を表示します。
- ⑦ VTR の状態表示  
Sv : VTRがサーボロック状態の時、“黄”になります。  
EE : VTRがEE状態の時“黄”になります。  
R-Inhi :テープが書き込み禁止状態の時、“赤”になります。(優先)  
本装置で書き込み禁止状態の時“青”になります。  
Rmt :VTR がリモート制御可能な時“黄”になります。
- ⑧ ポート選択表示  
ポート選択ボタンに連動して動作します。動作可能なポートが“黄”表示します。
- ⑨ IN 点タイムコード表示
- ⑩ OUT 点タイムコード表示
- ⑪ デュレーション表示

### 3. 簡易編集時の注意

---

#### 1) アッセンブル編集の注意

- ・VTR を使用して TC でアッセンブル編集を行う場合は VTR の TCG 設定を INT / REC RUN / REGEN にして下さい。
- ・XDS を使用して TC でアッセンブル編集を行う場合は XDS の TCG 設定を INT / TC / REC RUN にして下さい。

2) D-Stream でアッセンブル編集を行う時は LTC で行い OUT 点の指定は行わないで下さい。

3) D-Stream で REC を行う時は REC の停止は D-Stream 側で行って下さい。

#### 【誤操作防止と RECORDER の複数ポート選択】

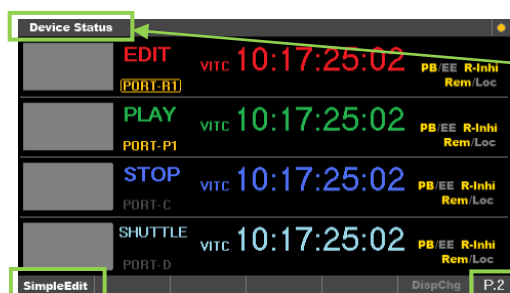
S0100-01-6F より RECORDER の指定を MENU で行える様になりました。

項目番号	項目名	内容
29901	AE-EditChSel	編集時の収録ポート指定 1) MasterPort : 点滅しているポートが RECORDER です。 2) 1 . . . ~ 16) : REC ポートの指定が可能です。 数字が立っている所が REC ポートとして指定可能です。

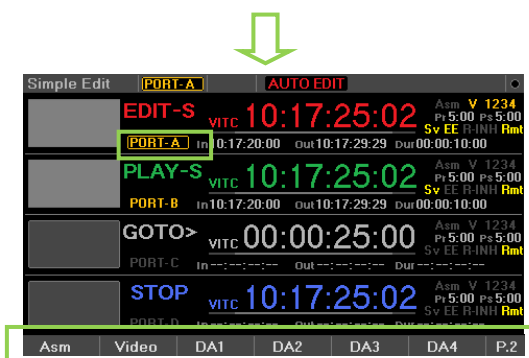
※操作上の変更はありません。

## 4. 編集操作

VTR2台での編集操作手順例を記載します。



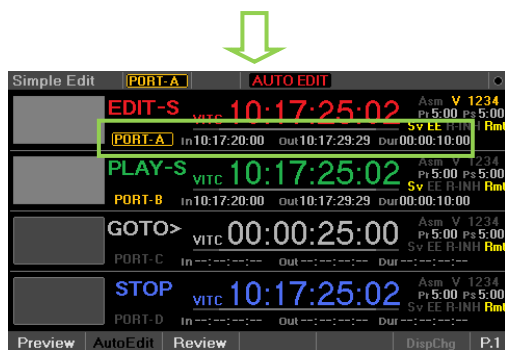
Device Status 画面のファンクション表示エリアでP2を選択して SimpleEdit モードを選択します。



Recorder ポートを選択し、SimpleEdit 画面のファンクション表示エリア P2 で、編集モード選択します。



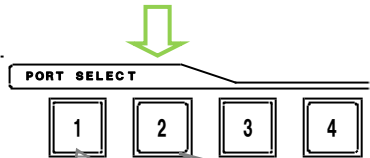
同様にファンクション表示エリア P3 で Preroll/Postroll の設定を行います。  
※設定は Recorder ポート・Player ポート同じ設定にしてください。



Port Select キー 1 で RECORDER 側の IN 点と OUT 点を決めます。  
※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。  
※IN ボタン・OUT ボタンの長押しで設定値の削除が可能です。



Port Select キー 2 で PLAYER 側の IN 点と OUT 点を決めます。  
 ※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。  
 ※IN ボタン・OUT ボタンの長押しで設定値の削除が可能です



1)点滅は Recoder を意味します。

2)SFT を押しながから選択します。

Port1 を選択し、次に SFT+Port2 を選択し、Recoder と Player 2 個を点灯させます。



Preview を選択し編集のリハーサルを行います。  
 ※同期制御は自動で行います。が、VTR の状態によりリトライ動作する事があります。



SFT を押しながから選択します。

AutoEdit を選択し編集を行います。



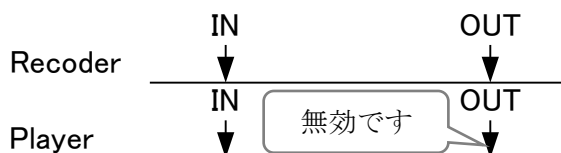
Review を選択し編集の確認を行います。



## 5. 編集 TC について

簡易編集では、収録側TCと再生側TCは下記の動作となります。

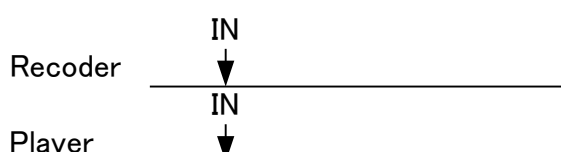
- 1) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点と同じ時



【動作詳細】

Recorder の IN/OUT 点を基準に動作します。

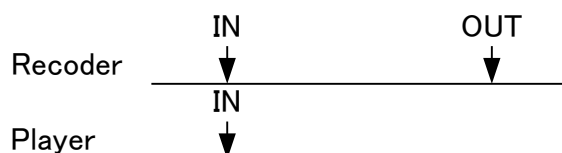
- 2) 収録側IN点と再生側 IN 点が設定されている時



【動作詳細】

オープンエンドで記録します。

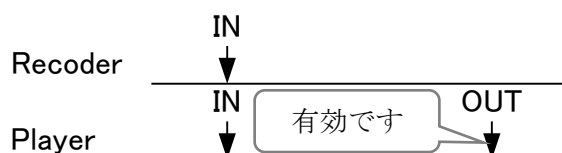
- 3) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN 点が設定されている時



【動作詳細】

Recorder 側の OUT 点を基準にして編集が行われます。

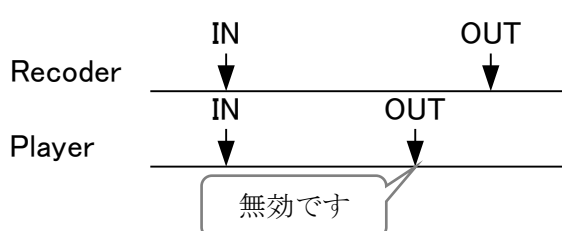
- 4) 収録側IN点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時



【動作詳細】

Player 側 OUT 点を使用して編集が行われます。

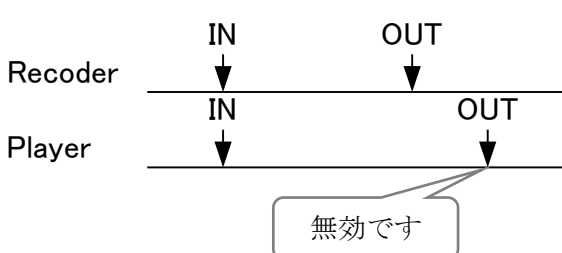
- 5) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時(収録側が長い)



【動作詳細】

Recorder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

- 6) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時(再生側が長い)



【動作詳細】

Recorder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

## 6. 編集システム設定

---

簡易編集を行うには、対象機器毎にパラメータの変更が必要です。

### 1) 編集パラメータの設定方法

調整パラメータは MENU の SIO 内で設定を行います。

30E43 V:EditIn-Timing(Def 5frame)

→編集 IN 点の調整を行います。

30E44 V:EditOut-Timing(Def 4frame)

→編集 OUT 点の調整を行います。

30E45 V:EditIn-CtlTiming(Def 0)及び V:EditOut-CtlTiming(Def 0)

→TC 編集と CTL 編集が混在する時に設定を行います。

※Port 1～4切替えて設定を行います。

### 【Edit タイミングの調整手順】

- 1) TC 編集を行います。
- 2) 編集結果を確認し、IN 点が進んでいる時は V:EditIn-Timing の設定値を小さくします。
- 3) 編集結果を確認し、OUT 点が進んでいる時は V:EditOff-Timing の設定値を小さくします。
- 4) 上記を数回繰り返し、編集結果にずれが無い事を確認して下さい。
- 5) CTL 編集を行います。
- 6) 編集結果を確認して、ずれが発生した場合は2)と3)と同様 V:EditInt-CtlTimingと V:EditOff-CtlTiming を設定して下さい。  
※デフォルト値 0 は TC での設定値が反映されます。0 以外の値を入れると CTL は独立したタイミング値で設定されます。

## 【参考パラメータ】

### ■XDS-PD2000 のパラメータ値

項目番号	項目名	内容	設定値
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ	5 frame
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	4 frame
30E45	V:EditIn-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-ON 送信タイミングパラメータ	0 frame
30E46	V:EditOut-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	0 frame

### ■HDW-M2000 のパラメータ値

項目番号	項目名	内容	設定値
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ	6 frame
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	5 frame
30E45	V:EditIn-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-ON 送信タイミングパラメータ	0 frame
30E46	V:EditOut-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	0 frame

### ■D-stream パラメータ値

項目番号	項目名	内容	設定値
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ	5 frame
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	4 frame

## 2) DF/NDF の設定方法

DF/NDF の設定は MENU の SIO 内で設定を行います。

30203           FrameFormat    1)NTSC-DF(Def) 2)NTSC-NDF 3)PAL

デフォルトでは DF の設定になっています。

システムに合わせてご使用下さい。

※ポート毎に設定が可能ですが混在した編集は行えません。

## 7. XDS 編集オプション使用例

XDS で編集を行う時の設定及び動作を記載します。

### 【MDC-70 の Collection 設定】

SIO1 と SIO2 を使用した時の設定例です。

No.	Name	Value
17000	\$CustomPtn	0000
17002	\$PcSysPtn	1) Free
17100	\$Port-Coupling	2) Default
17301	\$Port1-Protocol	19) XDS-a VTR R/P
17302	\$Port2-Protocol	19) XDS-a VTR R/P
17303	\$Port3-Protocol	1) Free
17304	\$Port4-Protocol	1) Free
17320	\$PreDefSetPort	1) ....

### 【XDS の設定】

アッセンブル編集を行う時の XDS の TCG の設定例

MENU	設定
EXT/INT設定	INT
PRESET/REGEN設定	TC
FREE RUN/REC RUN設定	REC RUN

【MDC-70 の簡易編集機能を使用した時に下記の編集動作が可能でした】

XDS の設定 (VTR Mode)			動作
PD	インサート編集	LTC	OK
		CTL	OK
	アッセンブル編集	LTC	NG
		CTL	NG
INTERNAL	インサート編集	LTC	OK
		CTL	OK
	アッセンブル編集	LTC	OK
		CTL	OK

### 【使用上の注意】

- ※1. XDS では VTR と異なりクリップがあります。編集 OUT 点は Clip の OUT 点を超えない様に指定して下さい。またアッセンブル編集で繋ぎ撮りを行う時は IN 点のみを指定して下さい。
- ※2. XDS で ASM 編集を行う時はポストロール(PostRoll)を1秒以下でご使用下さい。

## 8. お問い合わせ

---

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

### **武蔵株式会社**

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---